

I. 次の楽曲はシューベルト作曲、弦楽四重奏曲 第15番 第2楽章の一部分です。下記の問いに答えなさい。

1. ①～⑧の音程を答えなさい。また、①～④は転回音程になるように、下に書かれている音の上に全音符を書きなさい。なお、転回音程について、複音程は単音程に直して答えること。(3点×8=24点)
(音程)

① 増2度	② 完全4度	③ 減5度	④ 長6度
⑤ 短7度	⑥ 完全1度	⑦ 長3度	⑧ 完全15度 (2oct.)

(転回音程) (3点×4=12点)

2. 次の(a)(b)で示される音階を、調号を用いて右の五線に主音から上行形で書きなさい。(2点×2=4点)
旋律短音階は上行形と下行形の両方を書くこと。

(a) ⑦を下属音とする旋律短音階

(b) ⑦の異名同音を第三音とする長音階

3. 次の(c)(d)で示される音階を、調号を用いず右の五線に主音から上行形で書きなさい。(3点×2=6点)

(c) ⑦を導音とする長調の属音を主音とする和声短音階

(d) ④を属音とする長音階

II. 次の楽曲について、下記の問いに答えなさい。

1. (1)～(5)の和音について、種類と転回形を答えなさい。(2点×10=20点)

- (1) 種類 長三和音 転回形 第1転回形 (2) 種類 減三和音 転回形 第1転回形
 (3) 種類 減七の和音 転回形 基本形 (4) 種類 属七の和音 転回形 第3転回形
 (5) 種類 短三和音 転回形 第2転回形

2. 次の文中の《 》に関係調の名称を、[]に調名を、{ }に和音の種類を書き入れなさい
(短調は和声短音階とする)。(a～c: 2点×4=8点、d: 1点×7=7点)

- a. (2)をⅤ度の和音とする短調の《 下属調 》はト短調である。
 b. (1)と(5)を同時に含む調の同主調は[イ短調]である。
 c. (3)の和音の第三音を主音とする短調の調号を下の五線に書きなさい。また、その調を平行調とする調の属調は [嬰へ長調] である。

d. 自然短音階の音階上にできる三和音の種類をそれぞれ答えなさい。

- I { 短三和音 } II { 減三和音 } III { 長三和音 } IV { 短三和音 }
 V { 短三和音 } VI { 長三和音 } VII { 長三和音 }

III. 次の楽語の意味を右から1つ選び、その番号を書きなさい。(1点×7=7点)

una corda	11
nobilmente	1
senza tempo	14
tanto	10
religioso	7
Prestissimo	3
grazioso	4

- 意味: 1. 上品に 8. 3弦で
 2. Prestoよりも遅く 9. 生き生きと
 3. Prestoよりも速く 10. 非常に
 4. 優雅に 11. 1弦で
 5. 決然と 12. 正確な速さで
 6. 堂々と 13. すぐに
 7. 厳粛に 14. 自由な速度で

IV. 次の旋律ABの調名を答えなさい。また、楽曲Cは転調していきます。(い)～(に)の部分の調名をそれぞれ答えなさい。(2点×6=12点)

A

B

C *Allegro assai*

(は)

(に)

A 嬰ハ短調 B 変ニ長調

C (い) ハ短調 (ろ) 変イ長調

(は) ヘ短調 (に) 変ロ短調